

公明党奈良市議会が防災・減災対策を実現！

●被災者支援システムの導入

大規模な災害に見舞われた際、被災者を救護・支援し、迅速に復旧・復興作業を行う支援システムの導入。



●デジタル同報系防災行政無線の導入

避難所などに設置した拡声器で、住民や観光客に対し、避難・防災情報など、一斉伝達が出来、相互通話が可能なツールの導入。



●エリアメールの導入

災害の発生時に避難勧告、避難指示など、市民の生命・財産に関わる緊急情報を携帯電話に配信する。

●土砂災害ハザードマップの作成

市内の土砂災害警戒区域の指定箇所がある地域及び周辺近隣の住民に対し、当該区域の土砂災害ハザードマップを作成する。



●防災用備蓄倉庫の設置

小学校区単位で防災用備蓄倉庫を設置し、自主防災組織と連携し、迅速かつ円滑な物資の配給を行う。

(平成 24 年度で、全 47 ヶ所に設置完了予定)



●救急医療キットの導入

災害発生時の緊急事態に備え、かかりつけ医や服薬内容などの医療情報を活用支援するツールの導入。



●防災に女性の視点を！

奈良市防災会議条例を改正し、増員した 5 名を女性委員として登用を検討する。「活動マニュアル」等に具体的かつ詳細に女性の意見を反映する。



●学校施設の防災機能の強化を要望！

公明党奈良県本部議員団は党員の皆さんと「わが地域の防災」緊急総点検調査を実施。その調査結果を基に 3 月 21 日奈良市長に施設の耐震化・防災機能の強化を要望。





大地震発生！ その時どうする？

公明防災ニュース

2012
防 災
特 集 号

発行：公明党奈良市議会議員団
奈良市二条大路南1丁目1-1

地震直後の行動

正しい情報！ 確かな行動！

まずは自分の身を守ろう！

①丈夫なテーブルや机の下に身をかくし、あわてて外へ飛び出さな！



②揺れがおさまったら火の始末



③テレビやラジオで地震情報を



④窓や戸を開け出口を確保



○頭を守る(防災ずきん、ヘルメットなど)

○靴やスリッパを履こう

⑤近づくな！自動販売機、ビル、ブロック塀のそば



家族で話しあっておこう

安否確認の方法
例)災害用伝言ダイヤルの活用
最寄りの避難所の確認など
例)家族の集合場所、非常時持ち出し品の保管場所



3日間、自力で生き抜く備えを！

支援活動が本格化するのは3日後です。一人3日分の非常食、飲料水、薬など必要な物を常備することが大切です。

- 現金・通帳・債券(コピー可) 薬・救急セット(常備薬)
- 保険証・身分証(コピー可) 衣類・下着 携帯ラジオ
- 懐中電灯 手袋・軍手 タオル バスタオル ポリ袋
- 雨ガッパ 新聞紙 ウエットティッシュ 万能ナイフ
- ラップ トイレトペーパー 使い捨てカイロ 眼鏡
- 電池 レジャーシート 笛
- 非常食(乾パン・缶詰など一人3日分)
- 飲料水(一人一日3ℓ・3日分)

普段から備えを
●家具転倒防止
●消火器の設置
●頑丈な机など

【高齢者の方は】

- 常時薬 処方せん
- 入れ歯 老眼鏡
- 補聴器

【赤ちゃんのいる方は】

- 母子手帳 ミルク用品
- おむつ用品

※体力、必要に応じて選ぶことが大切です。

災害用伝言ダイヤル 171の使い方

- ①「1」「7」「1」をダイヤルする。
 - ②録音するとき
「1」→自宅の電話番号(市外局番から)→「ピー」音のあとに話す。
 - ③再生するとき
「2」→自宅の電話番号(市外局番から)→用件を聞く。
- 録音は10件まで30秒以内。
 - 2日間保存される。



携帯用 災害用伝言板の使い方

家族間で電話会社が変わっても、会社間のリンクがはってあるので安否確認が可能。
【ドコモ】「Menu」のトップに表示される「災害用伝言板」を選択。
【au】「EZ ボタン」→「トップメニュー」→「災害伝言板」
【SoftBank】「Yahoo! ケータイ」トップ画面から「災害用伝言板」を選択。
【WILLCOM】公式サイトまたはH`LINKのトップから「災害用伝言板」を選択。

※毎月1日・15日は各社が訓練に解放しています。必ず家族間で訓練して下さい。

落ち着いて行動し、「助け合い」の精神で！